



どうなった あの一般質問の行方は

町営住宅の空き地と 家畜検査場跡地の利用は

若者の定住促進対策として、野方小学校に隣接する町営住宅跡地と家畜検査場跡地について、両町有地とも長年利用されていない。民間に売却・貸付、PFI方式等、若い人が一人でも多く定住してもらうための定住対策として早急に取組む考えはないか。

平成19年12月定例会質問

岩田 秀一 議員



▲ 野方小学校に隣接する町営住宅跡地

住宅地と企業誘致として

町営住宅空き地については、生活の利便性の高いところであるので、定住促進策としての土地の売却、貸付等を考えている。

家畜検査場跡地については、企業誘致として考えている。

町長答弁

このようになりました

町営住宅跡地については、現在の空き地と既存の住宅を総体的に勘案しながら、より有効な活用を図れるよう検討しています。家畜検査場跡地については、土地活用の目的及び将来の財政的な観点から、宅地としての売却が最良の手段ではないかと考えている。

まちづくり推進室

※過去の定例会での一般質問の中から一部をピックアップして、その後、どのように町政に反映されたかを検証します。



—— 表紙写真 ——

中央通り会（山下知美会長）NPOおおさき（松元俊郎理事長）は12月27日中央通り商店街で、餅つき・そばうち体験を実施した。子どもたちは米を蒸し、なれない手つきでもちを丸めたりそばをのぼしたり、切ったりしてはしゃいでいた。200食準備したそばやもちを買い物客や子どもたちに振舞われた。